

⑩ トビイカの価格

漁協のセリ市場で取引されるトビイカの価格の概略については、表8により知ることができる。全期間を通じての平均価格は1kg当り427円であるが、価格変動の巾は比較的大きい。旬毎の平均価格の変動には312～711円の間があり、個々の取引では最低値100円から最高値950円の変動があった。しかし、250円以下で取引されたトビイカの量をセリ台帳から集計してみると27kgにとどまっておき、これらのトビイカが異常に安値で、品質に問題があったことがうかがわれる。通常の状態での最低値はkg当り300円と考えてよい。また、850円以上の価格は、取引が9月4日と5日に限られ、その量も47.5kgに過ぎないことから、異例の高値であったことが分る。

図6は旬別の平均価格と搬入量の変動を示したものである。一見して分るように、トビイカの価格は漁期の初めの9月上旬までは高値であるが、9月中旬～11月下旬の盛漁期には安くなり、終漁期になってまた急上昇する。これを搬入量との関係で見ると、9月中旬以後においては搬入量の多少により価格が変動していることが明瞭であるが、それ以前においてはそれほどはっきりした傾向はみられない。

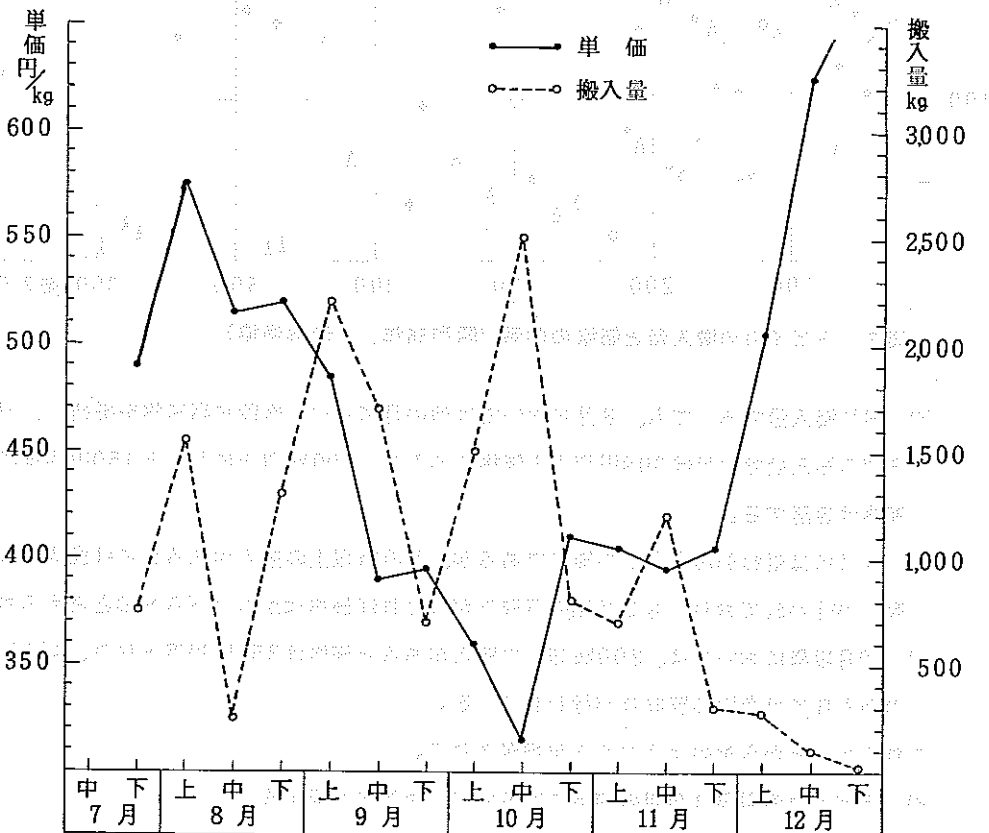


図6 トビイカの価格変動と搬入量

図7は56年8月から11月までのトビイカ価格について、セリ開設日ごとの平均価格と搬入量との関係を示したものである。図7からも搬入量の多い日には価格は低下する傾向が認められるものの、月により様子が異なる。図7から次のようなことが分かる。

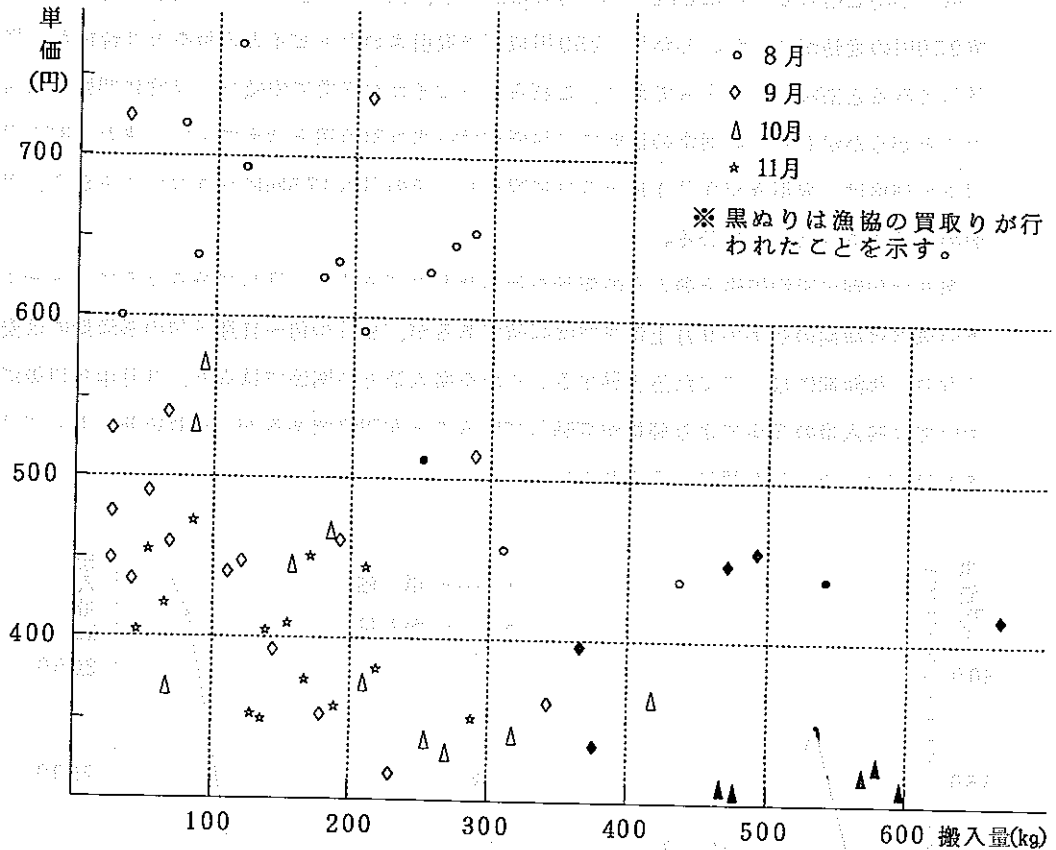


図7 トビイカの搬入量と価格の関係(昭和56年、久米島漁協)

- (イ) 同じ搬入量であっても、8月においては他の月に比べて格段に高価格を維持し、300kgまでの搬入量ではほぼ600円以上の価格であるが、300kg以上になると450円程度にまで価格は急落する。
- (ロ) 9月には概ね400円以上の価格であるが、350kg以上の搬入がある日には漁協による買取りが行われており、もし漁協の買取りがなければ価格はかなり下るものと考えられる。
- (ハ) 10月以降においては、200kg以上の搬入があると価格は350円程度となり、400kg以上の搬入日には漁協の買取りが行われている。

これらのことから次のようなことが推察される。

- (イ) トビイカの需要は漁期の前半には多いが、次第に減退する。
- (ロ) 350~400kg以上の搬入がある日には、漁協の買取りにより価格の下落を防いでいる。

久米島においては、トビイカの価格が400円以上でなければ、トビイカ釣り漁業よりも他